

北米セールスプロモーション報告書(ロサンゼルス・ホノルル)

日程: 10月27日出発、11月3日帰国

山ノ内町長 平澤岳

● ロサンゼルス 10月27日～29日

ロサンゼルスでは、旅行代理店の参加者が比較的多く、JNTO や長野県の関係者と連携して商談を実施。会場はハリウッドの Japan House (外務省の施設)。

志賀高原や山ノ内町の知名度はまだ低かったものの、スノーモンキーは非常に知られており、特に桜のシーズンや四季折々の魅力を伝えると好反応が得られました。

特に春～秋の志賀高原などは魅力的らしく、長野市の善光寺や戸隠神社などの文化的観光地との連携は有効的と感じた。

課題と展望: ロサンゼルスでは多くの旅行代理店がスキー客の扱いをしていないとのことだったが、最近少しずつニーズが出始めているとのこと。

ゴールデンルート以外のルート探しを始めているという声が多く聞こえた。

今後は志賀高原の索道協会と連携し、カリフォルニア在住のスキー愛好家向けの「山ノ内・志賀高原ナイト」のようなソーシャルイベントを検討するのも良いと感じました。

● ホノルル 10月30日～11月2日

ホノルルではロサンゼルスに比べて参加した旅行代理店はやや少なかったものの、地理的に日本に近いこともあって非常に興味を持ってもらえた。

ハイキングなどのアクティビティもニーズがあるらしく、山ノ内町のオールシーズンの魅力が伝えると興味を持ってもらえ、ホノルルの旅行代理店とも前向きな対話ことができました。

課題と展望: ホノルルでも BtoB 中心の活動でしたが、今後はホノルル在住のスキー愛好家向けにも同様にソーシャルなネットワーキングイベントを開催し、直接エンドユーザーにアピールする方法も検討すると良いと思う。

● ホノルル市長との会談 10月31日

ホノルルの Rick Blangiardi (リック・ブランジアーディ) 市長とお会いすることができました。

規模は違えど、お互い観光地ということで共通の課題で1時間ほど話をしました。

将来的に学校同士の交流や、文化的な交流などができそうな可能性がありました。

● カメハメハスクール サーフコーチとの会談 10月31日

ハワイで有名な私立カメハメハスクール(1学年から12学年)のサーフクラブのコーチ、ダニエル・Ito さんとお会いし、ランチをし、子供同士のエクステンジの可能性を話すことができました。

例えば、4月にサーフチームで志賀高原にスノーボードにくる予定を組み、8月ぐらいに山ノ内町からも子供達が行き、サーフィンを試みるようなエクステンジが可能とのこと。











ホノルル市長
10月31日だったため、仮装していました

ホノルル市長
着替えて会談



カメハマスクール
ダニエル・イトウ氏

